

震災関連死は生ませない!! 鳥取県中部地震 鳥取民医連・鳥取医療生協 合同対策本部ニュース

2016年11月24日

vol. ⑰

発行元: 鳥取県中部地震 鳥取民医連・
鳥取医療生協合同対策本部
連絡先: 0857-24-6161

11/21日12時現在

◆人的被害 23人(重傷4、軽傷19)

◆住民避難 15人(10世帯)

被害・避難状況

◆住宅被害 12,613棟(全壊12、半壊95、一部破損12,506)

◆公共土木施設被害 131カ所

倉吉市に隣接する青谷町・気高町組合員の被災状況確認 2日間で151訪問96対話!

震災発生から1ヶ月が経過した中、鳥取県倉吉市に隣接する2町の一部地域で中部地震による被害が起きることの情報が入り、急遽11月19日と23日の2日間に職員、理事、組合員で被災状況確認訪問を実施しました。特に被災が多かった青谷町駅前、気高町船磯、姫路の3集落では、屋根瓦の損傷が多く、内装は壁に亀裂が入り、墓石の倒壊などの被害状況を確認しました。

80歳代夫婦暮らしのお宅は目視で被害が確認でき「知らない業者から電話がかかる、騙されないように気をつけている。住宅の罹災証明の手続きは行っていない」など、様々な課題の要フォローが必要な実態が明らかになりました。



↑訪問先からは終始「ありがとう」の声と笑顔

今回の訪問のまとめ会では、罹災証明などの制度を知らない方へのフォローが必要。昔ながらの魚場町屋で道幅が狭く、家屋が密集している、海拔が低く地域に居住があり、自然災害時に高齢者の移動手段や避難場所といった防災面で行政との連携や班会の中で周知していく必要があるのでは、等の感想がありました。



↑11/23訪問前に意思統一



↑気高町姫路地区の被災状況



↑組合員宅を訪問

義援金・お見舞金 多くの県連・職員 から届いています

全日本民医連と医療福祉生協連の呼びかけで全国の事業所をはじめ、鳥取民医連職員、組合員から義援金・見舞金約200万円が届いています。行政や被災者(組合員)等へ届けていく準備を行います。

避難所は縮小していますが...

11月22日現在、避難所は倉吉スポーツセンターの1ヶ所まで縮小され10世帯15名の被災者が生活されています。

22日の夕方、職員4名で避難所を訪問しました。高齢者4名、幼児2名と母親は談話室で夕食中でしたので、あまり詳しいお話をすることは出来ませんでした。部屋は世帯別に個室(2段ベットが4個あり)が準備されていましたが、食事は仕出し弁当にインスタントお汁です。避難生活が長期間になると食生活環境の整備は重要課題です。改善に向けた取り組みをすすめます。